

社団法人日本溶接協会 創立60周年を祝して

経済産業省 大臣官房審議官（基準認証担当）

山本 達夫

社団法人日本溶接協会の創立60周年を心よりお慶び申し上げます。

社団法人日本溶接協会は昭和24年に戦後の産業復興を目的に先達によって創立されて以来、関係業界との密接な連携の下に、溶接関係JISの規格原案作成、溶接接合技術の研究、調査、溶接に関する技術の認定・認証、教育等の事業を活発に推進されるなど、我が国の溶接接合技術の進歩向上と国際交流に多大な貢献をされてこられました。

貴会は、溶接関係のJISやISO・IEC規格案の作成・検討に当たって我が国の溶接技術の中核機関として主体的な役割を果たしておられるほか、溶接技能者・溶接技術者・溶接研究者の育成と地位向上に向け、溶接要員認証制度の運営や教育事業に積極的に取り組まれるとともに、ウェブサイトを活用した溶接関連情報の発信を通じて溶接技術水準の維持・向上のための活動に注力し、我が国産業の発展に大きく寄与しておられます。

また、タイ、フィリピン、インドネシアへの溶接管理技術者認証制度に関する協力や国際溶接学会の国際資格制度への参加等の国際活動を積極的に推進されるなど、21世紀の溶接界にとって誠に意義深いことであり、関係各位の弛みのない精進と多年にわたる努力に対して深く敬意を表します。

さて、日本経済を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。こうした中、我が国の技術、製品が国際市場において優位を保つためには、技術開発や国際標準化活動を強力に推進していくことが極めて重要です。政府全体の取り組みである「国際標準総合戦略」に基づき、日本工業標準調査会において「国際標準化アクションプラン」、「今後の標準化人材のあり方」などの方針を策定し、現在の標準化政策を取り巻く重要な課題に対して官民一体となった戦略的取り組みを実施しているところです。このような情勢下、創立60周年を迎えられた貴会が、関係業界、学会と連携をとりつつ、引き続き我が国溶接界の技術や標準化の中核機関として活躍されることが極めて重要であると考えております。

また、平成20年12月に公益法人制度の抜本的改革を目的として「非営利法人法」が施行され、平成25年までの間に新公益法人制度への移行が必要となっています。このような状況の中で、貴会におかれましては新公益法人制度への移行に向けて、ワーキンググループを設置し、新法人制度に対応するための具体的な内容の調査・検討や会計システムの改修などを進めておられます。こうしたご努力が実り、貴会が新たな時代に即応した団体として再スタートされることを心より期待しております。

ここに、創立後60年間の貴会の輝かしい業績と溶接界の発展を心からお祝い申し上げますとともに、貴会が今後とも溶接界のより一層の発展に寄与され、広く産業界の期待に応えられるよう希望して祝辞とさせていただきます。

祝 辞

社団法人溶接学会
会長 西本 和俊

社団法人日本溶接協会が創立 60 周年を迎えられましたことを、衷心よりお慶び申し上げます。

貴協会が創設以来永年にわたって、溶接技術の普及や啓発、検定・認証業務による溶接技能者や溶接技術者の育成、溶接技術の工業標準化並びに溶接技術情報の提供などを通して、我が国の溶接技術の発展におおいに寄与されてこられました。貴協会のこのような貴重なご貢献に対しまして、溶接学会を代表しまして、心より敬意を表します。

ここ10年間での貴協会の活動をみますと、認証業務では IIW スキームによる国際溶接技術者資格を与える機関となる J-ANB 認定取得、東南アジアへの WES 溶接管理技術者認証制度の普及などの国際化対応への積極的な活動並びに溶接情報センター設立による溶接技術情報の電子化およびその発信などを通じて、貴協会は溶接技術の啓発・普及への貢献度の一層の増進をはかれ、その存在の重要性をますます増しておられます。

我が国は科学技術創造立国を標榜し、先進的なモノづくり産業として発展していくことを求められています。溶接技術はモノづくりの重要な中核的基盤技術であり、他国を凌駕するモノづくりを維持するためには、高いポテンシャルの技術発展を溶接技術分野でも要求されることは論を待ちません。技術の発展は確固とした学術基盤の上でなし得るもので、溶接技術を学問的観点より支える溶接学会と実践的観点を重視した貴協会が、密なる連携を保って協調することが溶接技術のさらなる進化に不可欠といえます。今後も、溶接技術の普及・啓発を主とする貴協会の活動と溶接技術の基礎・基盤を守備し学術基盤を形成する溶接学会は相補的な連携を保ちつつ、互いに発展していきたいと考えております。

昨今の団塊世代の大量退職によるベテラン技術者、技能者の減少により、各産業分野で溶接技術者、溶接技能者の減少が深刻な問題となるなか、溶接技術者、溶接技能者の育成および技術、技能伝承に対する社会的要求は極めて高いといえます。このような状況下で、貴協会の果たす役割は従来に増して重要な意味合いを持つものといえます。

創設 60 周年を機に日本溶接協会が今後も引き続き日本は言うに及ばずアジア地域を中心としたグローバルな溶接界の牽引役としてさらに発展されることを祈念して、祝辞とさせていただきます。



INTERNATIONAL INSTITUTE OF WELDING
A world of joining experience

The Japan Welding Engineering Society – JWES
1-11, Kandasakumacho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0025 Japan

My deep congratulations to the Japan Welding Engineering Society – JWES on the occasion of the celebration of the 60th anniversary on November 26, 2009.

Since many decades Japan and the Japan Welding Engineering Society – JWES have contributed with enthusiasm and continuity to the work of the International Institute of Welding – IIW and its working units.

The Japan Welding Engineering Society – JWES has strongly and persistent supported IIW becoming the worldwide reference for welding and allied joining technologies as well as the international network for exchange of knowledge on standardization, education and certification of personnel and companies at all levels of welding and its multiple industrial application and so to fulfil its mission, to improve the global quality of life through the optimum use of welding and joining technologies.

I am honoured by presenting to Professor Takashi MIYATA, President of the Japan Welding Engineering Society – JWES my congratulations and appreciations for the societies high level of credibility in the scientific and industrial communities together with my best wishes for the societies successful future development and further cooperation with IIW.

Aachen / Germany, July 31, 2009

Prof. Dr.-Ing. Ulrich Dilthey
President of the International Institute of Welding – IIW

International Institute of Welding-Paris Nord 2-90 rue des Vanesses-Villepinte
BP 51362-95942 Roissy Ch. De Gaulle Cedex-France
Phone : + 33 1 49 90 36 08/79/15-Fax : + 33 1 49 90 36 80-iiwceo@wanadoo.fr-www.iiw.iis.org
SIRET : 422 335 901 00019-APE 524R-TVA : FR20422335901

**AsianWelding Federation**

c/o SingaporeWelding Society

No 3 Science Park Drive

Singapore Science Park 1

The Franklin #02-12/25 Suite 20 Singapore 118223

Subject: Congratulation for The 60th Anniversary of Japan Welding Engineering Society

Dear all of members of Japan Welding Engineering Society,

On behalf of the AWF (Asian Welding Federation) the all of members of AWF and I will express our and my deep congratulations to the Japan Welding Engineering Society on the celebration of 60th anniversary which will be written in the long history through your successful contributions in the field of welding activities, including research, investigation application and training works.

In past years the academic achievements and industrial application of welding developments were recognized and grateful worldwide which were and are bringing the success of industry and economy not only, building up a multi-coloured model in the range of welding techniques and technologies but also.

I believe that the leading status of Japanese welding capability in the Asian can make the welding technique more progresses for Asian welding. It is beyond doubt that the welding activities of Japan will improve more and more innovative developments for your country and other nations continual also.

At the cerebrated day I thank Japan Welding Engineering Society for your great effort and activities for AWF and express my best withes for cooperation work with you in the welding scenery.

And I hope you have all well.

With best regards!

Prof. Wu Yixiong
President of AWF
Aug, 8, 2009